



全日畜だより

第 61 号

2024 年 8 月 13 日

<https://www.alpa.or.jp/>

危機克服事業（JRA 畜産振興事業）の ワークショップを宮崎で開催しました

◎ 開催日時：令和6年7月3日（水）（13:30～15:30）

◎ 会 場：ひまわり荘（宮崎市）

◎ 昨年度から実施している「畜産経営の危機克服・持続のための実態緊急調査（JRA 畜産振興事業）」のワークショップを宮崎市で開催しました。参加者は、宮崎県をはじめ長崎、熊本、鹿児島各県から、畜産経営者及びその関係者7名、関係団体 11 名、行政関係者5名、飼料メーカー関係者 10 名、金融機関2名ほか、報道関係者、事務局合せて 43 名でした。



第1部では、生産者から、これまで

に畜産経営の危機に対してどのよう
に対処してきたかの事例紹介があり、宮崎県の担当者から、14 年前に発生した口蹄疫に対する対応をはじめ、その後の復興対応、豚熱、鳥インフルエンザ防疫対応などについての発表がありました。

第2部では、第1部の発表に関連した質問に加え、大きなダメージから回復するための資金調達関係や家畜伝染病対策関係の質疑応答がありました。（詳細は速報レポートに掲載予定）

なお、この開催にあたっては、宮崎県基金協会、宮崎県ほか地元の皆さまの多大なご協力をいただきました。

・開会あいさつ（鶴藺 眞佐彦 全日畜理事・九州全日畜会長）



・事例発表者



（有）レクスト
長友浩人 氏



（株）河中飼料
河中 勝 氏



牧原牧場（株）
牧原 保 氏



宮崎県家畜防疫対策課
谷口 岳 氏

新規 J R A 畜産振興事業の 「畜産経営の持続可能な開発目標対応調査事業」 を開始しました

- ◎ この事業は、持続可能な開発目標(SDGs)のうち、生産者の関心が最も高い畜産DXとアニマルウェルフェアについての実態調査を行い、事例集を作成する事業です。
- ◎ 事業をスタートするにあたり、事業推進に助言をもらう第三者委員会として事業推進委員会を7月17日(水)に開催し、事業の実施計画やアンケート調査内容について意見をもらいました。



(会場参加の委員)



(Web参加の委員)

委員には、畜産DX、アニマルウェルフェア関係の団体及び会社、酪農、養豚、養鶏の各生産者、飼料メーカー、配合飼料価格安定基金協会からの計10名に委嘱し、今後2年にわたって事業執行にあたっての示唆、指導をもらいます。

氏名	区分	所属等
木下 良智	学識経験者 (東京都)	公益財団法人 日本食肉生産技術開発センター 専務理事
八木 淳公	学識経験者 (東京都)	公益社団法人 畜産技術協会 常務理事
齋藤 猛	学識経験者 (東京都)	株式会社ファームノートホールディングス 専務取締役
津久井 宏哉	畜産生産者 (栃木県)	(有)グリーンハートティーアンドケイ 代表取締役社長
早川 結子	畜産生産者 (千葉県)	イデアス・スワインクリニック 代表
元木 隆行	畜産生産者 (千葉県)	有限会社 元木養鶏 代表取締役社長
田中 善規	飼料メーカー (東京都)	日清丸紅飼料株式会社 畜産業務部 課長
由良 武	学識経験者 (青森県)	一般社団法人 青森県配合飼料価格安定基金協会 参 与
川村 治朗	学識経験者 (千葉県)	一般社団法人 千葉県配合飼料価格安定基金協会 常務理事
三宅 俊三	学識経験者 (山口県)	一般社団法人 山口県配合飼料価格安定基金協会 常務理事

◎ 今年度の実施計画概要

9月～11月:畜産DX及びアニマルウェルフェア対応状況についての生産者アンケート調査

9月～11月:畜産DX及びアニマルウェルフェア対応状況をテーマでのワークショップ開催

全国3カ所(青森、千葉及び中部地区を予定)

(文中での団体の略称表記について)

- 全日畜：一般社団法人 全日本畜産経営者協会
- 全日基：一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金
- 工業会：協同組合 日本飼料工業会
- 〇〇県基金協会：一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会